懇談会の進め方について

資料 4

ステップ1

市民ホールは必要

・旧市民会館は廃止されている
・文化交流センターに多目的ホールがある（271席）
・旧市民会館のホール利用者は他市のホールを借りて活動している（他市のホールは借りるのが困難）
・アンケートではホールが不要と回答した市民がネットアンケートで約21%、郵送アンケートで約13%

必要であれば

ステップ2

ホールの形態は

・旧市民会館はひな壇式ホール
・文化交流センターに多目的ホールがある
・福祉センターのバンケットホールが廃止される。
・ネットアンケートでは多機能型ホールのみが必要と回答した市民が約44%、郵送アンケートでは多機能型ホールのみが必要と回答した市民が約41%

ステップ3

ホールの規模は

・旧市民会館は585席、車椅子10席。文化交流センター多目的ホールは271席
・旧市民会館建設当初（昭和41年）の市の人口規模61,000人程度
・ネット・郵送アンケートともに、801～1,000席程度が多く、バンケットのみの場合は小規模の回答が多数

ステップ4

複合化する施設は

・基本構想では、会議室、体育館、現福祉センター内の機能、休日・夜間診療所、大型児童センター等を想定
・アンケートでは、休日・夜間診療所が最も多く、大型児童センターや会議室等を希望する回答が多い
・休日・夜間診療所は別の建物として同事業用地内に設置済み

ステップ5

運営方法は

・旧市民会館の稼働率は33%程度となっていた
・基本構想では、全体を分割可能にし多様な市民ニーズへの対応が稼働率の上昇へと期待